

# 常任委員会審査から

審査等の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

全文は市議会ホームページに掲載しています。

## 総務委員会

平成29年度岡山市一般会計補正予算(第2号)ほか2件の議案が付託され、賛成多数または全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。

## 保健福祉委員会

■旧市民病院本館等解体後の跡地活用を検討

**委員** ● 解体後の跡地利用はどうするのか。

**市** ● 地元からの意見や要望に加えて、新しい文化芸術施設の整備など、今後の周辺環境の実態を踏まえながら、有効利用の方法や事業手法の検討を進めていきたい。

**委員** ● 病院の跡地なので医療福祉関係なのか、新しい文化芸術施設が近くにできることに重きを置くのか、どういったコンセプトなのかがはっきりしない。財政局、市民生活局など関係部局としっかり議論して進めていく必要があるのではないか。

**市** ● 中心部のまとまった土地なので、活用については、全庁で連携して進めていけるように検討していきたい。

## 環境消防水道委員会

■環境影響評価の手続き等を定めた条例の制定へ向けて

－岡山市環境影響評価条例は、環境影響評価の手続き等を本市独自で定めるもので、平成30年2月議会での制定を目指す－

**委員** ● 足守地区の約180ヘクタ

ールの土地へ太陽光パネルを設置する事業が計画されているが、環境影響評価の対象となり、規制がかかるようになるのか。

**市** ● 現時点では市の条例がなく、県条例でも太陽光パネルを環境影響評価の対象としていない。

条例の策定にあたり、パブリックコメント等の意見を聞きながら基準を定めていけば、一定規模以上の太陽光パネルの設置についても環境影響評価の対象にすることが可能となると思うが、条例とは別に、ガイドライン等で一定の整理ができないかについても検討していきたい。

## 経済委員会

■国際観光シンポジウム開催事業－観光庁や国連世界観光機関等と連携し、岡山コンベンションセンターや岡山城などを会場に、「持続可能な観光国際年」記念シンポジウムを開催する－

**委員** ● 今回なぜ予算を8月に計上し、10月には開催というタイトな日程になっているのか。

**市** ● 平成29年5月に本市での開催が決まったが、他の自治体での開催や観光庁が実施するシンポジウムとの調整に時間を要し、7月により早く開催概要について観光庁との協議が整った。

## 建設委員会

■北長瀬みずほ住座(市営住宅)再生事業の事業契約の締結－総合評価一般競争入札により落札した事業者から市営住宅の併設施設として提案された認可

外保育園について－

**委員** ● 入札審査などの手続きに問題があったとは思わないが、これまで保育園整備は「岡山市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、エリアを決めて市が認可保育園を公募してきた。今回、併設施設として認可外保育施設を条件の一つとして公募したことに違和感がある。

**市** ● 今回の案件については、配慮が足りなかった。今後は市の大きな流れを考慮して進めたい。

**委員** ● 平成31年度末での待機児童解消に向けて民間の協力は必要だ。保育園長会など関係者に丁寧に説明し、理解を得る努力をすべきだ。

**市** ● 民間の協力は欠かせないと思っている。今回の指摘を重く受け止めている。

**委員** ● 局を超えた横の連携がしっかりしないからこのような事態になったのではないか。

**市** ● 混乱を招いたことを陳謝する。今後は全庁的に関係部局が連携を図り、さまざまな事業を推進していく。

## 市民文教委員会

■新斎場整備事業は地元への配慮を

新斎場整備事業の審査にあたって、一番近隣の住民から了承が得られないまま債務負担行為を追加することは時期尚早ではないか。候補地の選定方法、議会での議論の過程について疑義がある。近隣住民の対立が残ったまま事業を進めるのはいかがなものか、などの意見があった。